

所属	名前	立候補の趣旨
医療法人 道志社 小松島病院	民 藍子	この度、初めて徳島県作業療法士会の理事として立候補させていただきました。私はいかねてより認知症支援推進委員として活動しており、認知症にまつわる地域活動や研修会などに積極的に取り組んで参りました。そこで、さらなるスキルアップ、県士会員のために活動の幅を広げたいと思い、この度理事に立候補する運びとなりました。地域における認知症支援に作業療法士の存在をアピールし、作業療法士が活躍できる環境を広げたいと思います。 また、日本作業療法士協会の会員の6割が女性会員であることを受けて、2児の母である私が理事になることで女性会員が少しでも士会活動や研修会への参加などの自己研鑽をしやすい環境を作っていけないかと考えております。宜しくお願ひ致します。
医療法人 道志社 リハビリテーション大神子病院	細川 友和	私は長年、副会長・事務局長として本会の運営の根幹を支えてまいりました。そして本年1月からは会長を務めております。近年、作業療法士の活躍の場は急速に広まっており、士会として対応することが増えてきています。広がりをもせる作業療法の領域についても、会員の学術研鑽、教育の機会を多く提供し、県民の健康・医療・福祉の充実に寄与できるよう取り組みます。また、一般社団法人日本作業療法士協会とともに「士会員＝協会員」、「生涯学習制度」の浸透に努めたいと考えています。
国立大学法人 徳島大学 徳島大学病院	大前 博司	この度、徳島県作業療法士会の役員候補者選挙にあたり、理事に再度立候補しました。 私は令和6年度から7年度にかけて理事として第1期を務め、外出支援推進委員会および就労支援推進委員会を担当してまいりました。関係団体と連携し、自動車運転支援に関するパンフレット作成等に取組む中で、医療機関内にとどまらない地域生活支援における作業療法士の役割と、多職種連携の重要性を強く認識いたしました。 また、本会のさらなる発展および、地域において作業療法士が活躍できる職域の拡大を推進するためには、臨床実践に加え、学術的活動を通じた対外的な発信の強化も重要であると考えております。これらの取り組みを通して、会員の皆様の臨床や実践に還元される士会づくりに寄与してまいります。 以上を踏まえ、引き続き本会の発展に貢献したく立候補いたしました。これらの取り組みには、会員の皆様のご理解とご協力が不可欠であると考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。
医療法人 道志社 小松島病院	角野 國雄	引き続き、徳島県作業療法士会の理事として立候補しました。現在は広報局啓発活動部の部長を務めております。作業療法の啓発活動として、作業療法作品展の開催や「お仕事本」の作成などを担当しています。作品展では、県士会に所属されている皆さまの施設において、利用者さまが作成された作品を展示しております。作品を通して参加の機会を広げ、意欲につながる場となることを願ひ、取り組んでいます。 作業療法の魅力や内容を広く伝えることは重要であり、啓発が十分でなければ、将来作業療法士を志す子どもたちが減り、作業療法の未来にも影響しかねません。今後は、より多くの方々を知っていただけるよう、小学校・中学校等への啓発活動にもさらに力を入れてまいります。また、他の活動として災害時の南部圏域リーダーや地域事業支援活動にも関わっております。微力ではございますが、引き続き尽力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。
医療法人 ひなた 放課後デイサービスかもめ	松本 祐輝	特別支援教育に携わる作業療法士として、これまでの2期にわたり理事としての役割を務めてまいりました。その中で、子どもたち一人ひとりの可能性を最大限に引き出すためには、教育と医療、そして地域が連携することの重要性を強く実感しております。特に、支援学校における実践を通して、子どもたちの生活機能や社会参加を支える作業療法の役割はますます広がっています。現場の先生方や保護者の皆様と協働しながら、より実践的で継続的な支援体制の構築に取り組んでまいりました。一方で、地域での県新事業の参加については、今後の重要な課題であると認識しています。早期発見・早期支援の観点から、地域の中で子どもたちを見守り、適切な支援へとつなげる体制づくりに、作業療法士としてどのように関わっていくのかをさらに検討し、具体的な取り組みへと発展させていく必要があります。3期目の理事としては、これまでの経験を基盤に、教育現場と地域社会をつなぐ架橋となり、より包括的な支援体制の構築に尽力したいと考えております。そして、子どもたちが安心して学び、成長できる社会の実現に向けて、引き続き責任を持って取り組んでまいります。
学校法人 勝浦学園 徳島医療福祉専門学校	濱 敬介	現在は、広報部と啓発活動部の副部長を拝命し、主にホームページを通して会員、一般の方への情報発信を担当させていただきました。引き続き、作業療法士の魅力や実績などの情報発信力の強化に取り組むたいと考えています。広報部や啓発活動部は、士会活動を会員や市民に届ける「顔」であり、これまで積み重ねてきた価値を最大化させる重要な部署です。特に①会員が必要な情報をすぐに入手できること②市民や他職種に対してOTの魅力や戦略的に発信すること③一方的な通信ではなく会員の声を聞く仕組みづくりを築くことが重要であると考えています。広報コストを最適化するうえでも、webサイトやSNSなどのデジタルツールを整備し、活動を視覚化することを目指します。会員の皆様が行っている日々の業務や士会活動を全力で発信して参りますので、よろしくお願ひいたします。
機能回復支援SPINs	船越 稔	これまで2期4年、理事として培った経験と、行政や他職種とのネットワークを活かし、徳島県の作業療法士が「学術的専門性」と「地域での作業療法士の存在感」をさらに高められる組織づくりに貢献したく、立候補いたします。次期2年においては「学術的資質の底上げ：日々の臨床や地域活動を論理的に言語化・発言できる場を設定し、質の高い作業療法を提供できるプロフェッショナルの育成を支援します。」「認知症予防と職域拡大：認知症施策における作業療法士の専門性を前面に押し出し、予防から生活支援まで、地域社会でOTがより一層活躍できる場を拡大します。」
医療法人 道志社 リハビリテーション大神子病院	鶴熊 洋樹	このたび、初めて理事に立候補させていただきます。リハビリテーション大神子病院所属の鶴熊洋樹と申します。これまでに主に事務局長として徳島県作業療法士会へ参画しており、会員が円滑な士会活動が行えるよう事務作業や総会の運営に携わってまいりました。現在、様々な分野において作業療法士の活動が求められており微力ではありますが県士会活動に貢献したいと考え、立候補させていただきました。どうぞよろしくお願い致します。
医療法人 道志社 リハビリテーション大神子病院	佐伯 浩佳	このたび、徳島県作業療法士会の理事に立候補させていただきました。ここに届け出いたします。私はこれまで、作業療法士として日々の臨床に従事する中で、本会の諸先輩方や現理事の皆様が築いてこられた活動や取り組みに多くを学ばせていただきました。そうした歩みを大切に受け継ぎながら、微力ではございますが、本会の運営に携わらせていただきたいと考えております。会員の皆様との連携を大切にしつつ、現場の声に耳を傾けながら、よりより活動の継続と発展に貢献できるよう努めてまいります。
医療法人 燈来会 大久保病院	吉野 哲一	作業療法士の社会的な役割が多くなり、様々なところから県士会に依頼があります。地域への貢献や士会員にとって有益となる県士会となるよう、努めていきたいと考えております。

所属	名前	立候補の趣旨
学校法人 勝浦学園 徳島医療福祉専門学校	坂東 仁志	徳島県内の作業療法士を取り巻く環境が変化し、地域包括ケアシステムの深化や多職種連携の重要性が増す中、これまでの私の経験を士会のさらなる発展に役立てたいと考え、立候補いたしました。私は長年、教員として作業療法士養成の現場に身を置き、次世代の育成に邁進してまいりました。この経験を、今度は士会の組織運営と地域社会の発展に還元したいと考えています。特に注力したいのが、「若手育成の強化」、「地域連携の推進」、「士会組織の透明化と活性化」と考えております。徳島県の作業療法がより地域に根ざし、飛躍できるよう全力を尽くす所存です。ご支援の程、よろしくお願ひ申し上げます。
医療法人 ひまわり会 八木クリニック	小森 和樹	理事に立候補しました医療法人ひまわり会 八木クリニックの小森和樹です。これまで理事という立場で徳島県作業療法士会活動に関わらせて頂く機会を頂いていましたが、今後も県士会ならびに作業療法の発展のために微力ながらお手伝いできることがあればと思ひ立候補させて頂きました。作業療法(県士会)の発展のためには作業療法士各人の資質向上はもちろんのこと士会・協会の組織力向上が必要だと考えています。徳島県作業療法士会が職能団体として一気団結し作業療法を盛り上げていけるよう尽力できればと思ひます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
日本赤十字社 徳島県支部 徳島赤十字病院	新名大介	この度4期目の立候補をさせて頂きます、徳島赤十字病院の新名大介と申します。3期目は、教育部部長として活動させて頂きました。今後も卒業教育の支援はもちろん、専門職としての質的向上また作業療法士がその能力を生かして様々な場所で活躍できるように微力ではありますが県士会活動に貢献したいと考えております。どうぞよろしくお願ひ致します。
株式会社 ReBirth Tone	村上 義和	この度、徳島県作業療法士会理事に再度立候補いたしました。第1期において、外出・就労支援に関する取り組みに携わらせていただきました。その中で、士会活動の意義や可能性を実感するとともに、活動内容を会員の皆様へ発信していく重要性を認識いたしました。また、外出・就労支援に関わる他機関との連携を通じて、作業療法士の役割が明確に伝わる場面を経験し、様々な機関との交流を進めることの重要性を認識しております。次期においては、これまでの経験を活かし、外出・就労支援分野を中心に、作業療法士の活動の場をさらに広げていけるよう取り組んでまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。
社会福祉法人 愛心会 介護老人保健施設 ロイヤルケアセンター	河野 祐一	この度、引き続き理事として立候補させて頂きました。これまで、地域事業支援協議への参画や、介護予防、日常生活支援総合の推進に関わり、生活支援サービスの提供、多職種の皆様と連携しながら地域支援に取り組んでまいりました。現場での関わりを通して、地域の中で支え合う事の大切さを実感しております。今後も、地域で活躍できる作業療法士の育成を大切に、士会員の皆様とともに学び合いながら、一歩ずつ取り組みを広げていきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。
社会福祉法人 健祥会 専門学校 健祥会学園	奥野 剛史	はじめに、徳島県民の生活と健康づくりに尽力されている会員の皆さまに、敬意と感謝を申し上げます。さて、この度、4期目の理事として立候補させていただきます。これまでの6年間では、教育者の視点を大切にしなが、徳島県作業療法士会と県内養成校2校が協力して次代を担う人材の育成ができるように可能な限り情報共有を実施し、広報および啓発活動に従事してまいりました。4期目では、これまでの活動を更に推進させていただく一方で、透明性のある士会運営に尽力させていただく所存です。会員の皆さまには、引き続き、どうぞご支援を賜りますようお願い申し上げます。
社会医療法人 養生園 TAOKAこころの医療センター	藤井 恭平	私は、徳島県の作業療法士がより活躍しやすい環境をつくり、県士会の活動をより身近で参加しやすいものになりたいという思いから、理事に立候補いたしました。現在、県内の精神科作業療法士は研修会等への参加も少なく、士会への所属率も低いという課題があると感じています。私はこれまで、大学院で学んで来たことや、臨床での経験をもとに、学会発表や研修会の講師なども行なってきました。これらの経験を活かし、会員ニーズに基づく研修企画や、会員が様々な経験をすることができる機会の創出を行っていきたくと考えています。また、去年度より関わっている地域保険推進事業のさらなる発展にも貢献したいと考えています。
医療法人 むつみホスピタル 訪問看護ステーションピオス	秋山 健太	2018年から8年間、理事を務めさせて頂きありがとうございます。前期はバラスポーツにおけるトレーナー活動をはじめ、精神分野の学術研修会、当事者団体との協業による県内小学校への出前授業、パブリックBOXでの作業療法士会ブース出展、県内小学校支援級・支援学校の子供たちに対するスポーツの場づくり、産業保健分野における作業療法士の活動など、様々な活動を通して士会員の皆様と関わったことは、私自身にとって多くを学ぶ機会となりました。本当にありがとうございました。今期も理事として立候補させて頂き、前期での取り組みに加え、作業療法士同士の横のつながりの強化や、臨床現場での研鑽を地域へと広げていけるよう、作業療法士の未来に希望を持って士会員の皆様と共に励んでいきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。